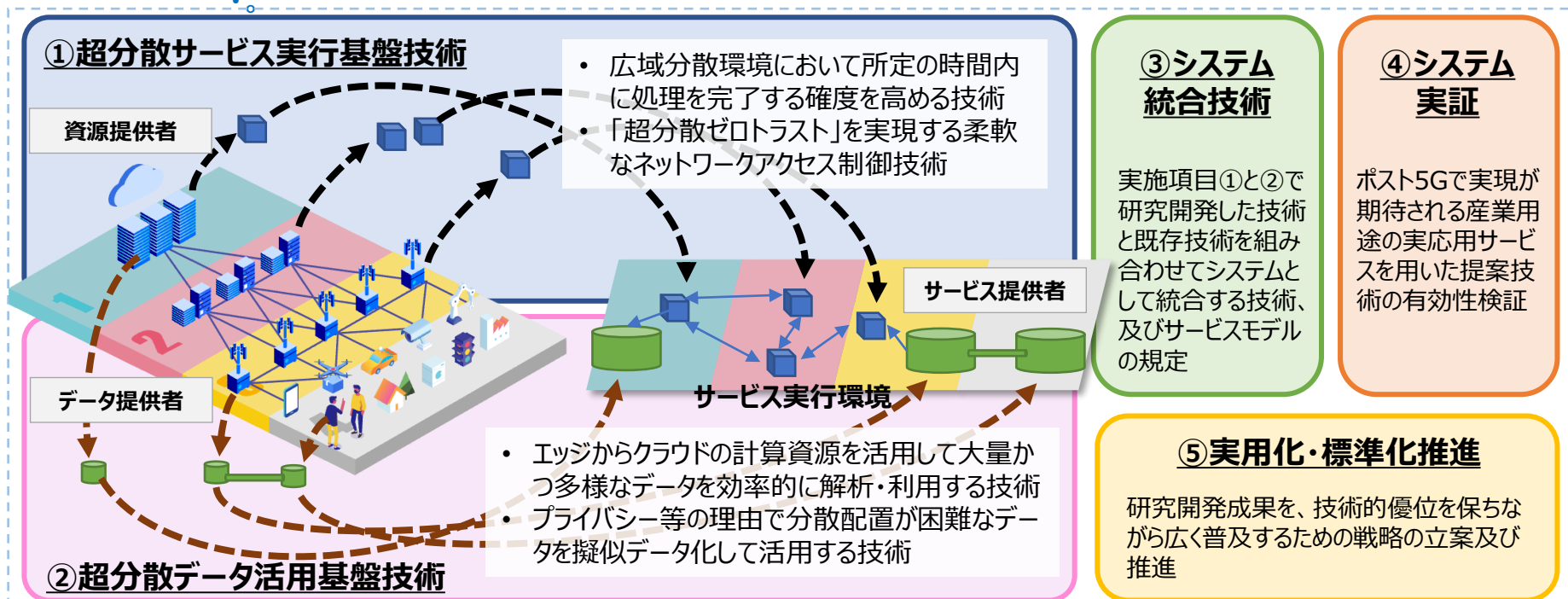


超分散コンピューティング基盤の研究開発

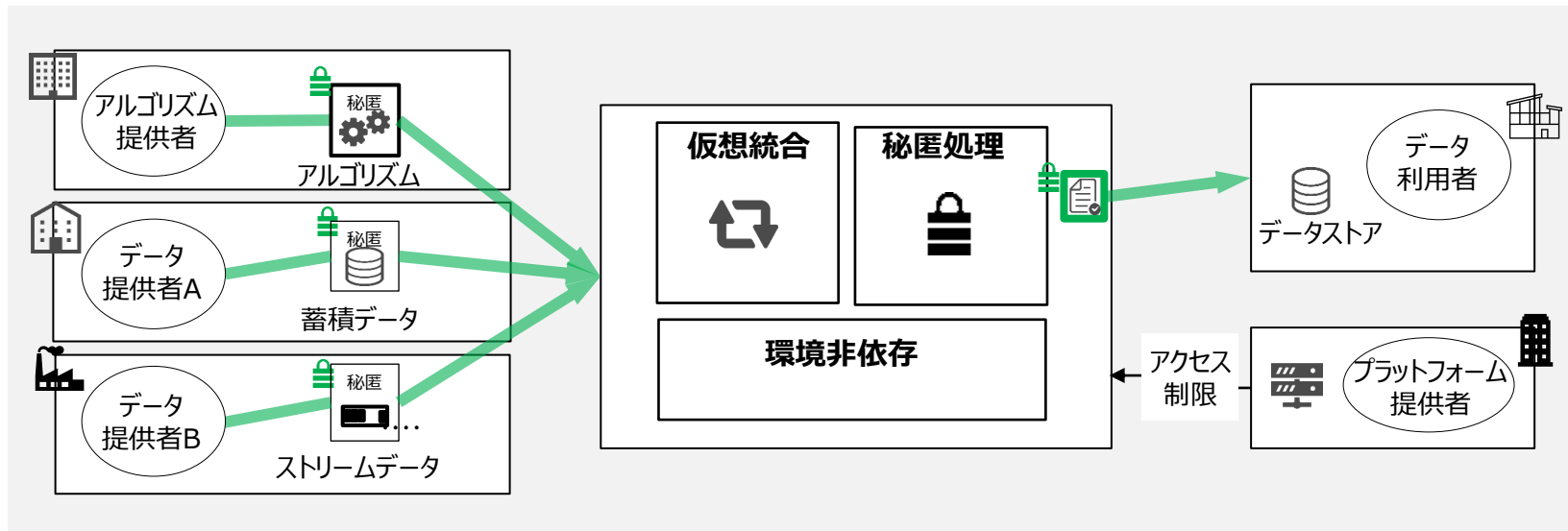
実施者	国立研究開発法人産業技術総合研究所、ソフトバンク株式会社
概要	ポスト5Gの特性(高速・大容量、多数同時接続、超低遅延・高信頼)に対応した処理能力を持ち、<u>安価で簡便に利用できる共用型コンピューティング基盤の実現を目指す</u>。地理的に分散したデータセンターやMEC・ネットワークを含めた全体を仮想的な一つのシステムとして提供するために、<u>①低遅延性などの制約を満たしつつ最適な処理を行う超分散サービス実行基盤</u>、<u>②複数の計算資源やステークホルダー間での円滑で安全なデータ利活用を実現する超分散データ活用基盤</u>、これらを統合しシステム化する<u>③システム統合</u>の各技術を開発し、その効果を④実応用サービスを用いて実証すると共に、<u>⑤実用化・標準化を推進</u>する。



管理者が異なる国内複数箇所のデータセンターと5Gネットワークに接続された数億台以上の5G端末から構成される規模に対応可能な超分散コンピューティング基盤技術を確立し、プラットフォームサービス事業としての社会実装を推進する。

データおよびアルゴリズムの秘匿化実行・可搬実行技術に関する研究開発

実施者	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ
概要	本研究開発事業においてデータやアルゴリズムの内容を開示せずにデータを連携するための秘匿化実行技術と、複数の拠点に散在するデータをタイムリーかつアドホックに利用するための可搬実行技術の開発を実施します。これら技術を実装した共通的な基盤として、データ連携基盤プラットフォームサービスを各企業や業界向けに提供することで、より多数のステークホルダーがデータ主権を確保しつつ、相互に大量のデータを円滑・安全に利活用することが可能となり、データを活用した新たなサービスやビジネスの創出を目指します。



本研究内容の Point

多様なステークホルダー間のデータ・処理を一貫して秘匿化し安全なデータ活用を実現

データ及び処理の可搬性を高めることでステークホルダー間のデータ連携を容易に